

プログラム (敬称略)

9時30分 《一般演題》 — 座長 — 長野 仁

1. 「ベルツの日記」の登場人物 (2) 山上勝久 (大阪市立大学)
2. 正倉院戸籍文書にみる灸 猪飼祥夫 (北里大学医史研)
3. 緒方洪庵書状二通—伊藤圭介と林守一宛 古西義麿 (除痘館記念資料室)
4. 菊池常三郎と西宮回生病院 飯塚修三 (いいづか眼科)
5. 平安京左京九条三坊十町出土施薬院関連木簡について 多田伊織 (大阪府立大学)

10時45分 — 座長 — 猪飼祥夫

6. 栗田口解剖所をめぐって 八木聖弥 (京都府立医大)
7. 新出の後藤良山門人帳『儒医姓名録』について 長野 仁 (森ノ宮医療大学)
8. 京都帝国大学総長荒木寅三郎—ドイツ留学当時の事績 榊原正義 (藤田保健衛生大)
9. 軍医寮創設の背景と歴史的意義 鈴木紀子 (順天堂大学医史研)
10. 外科医を育てる: アストリー・クーパー卿の生涯と業績 柳澤波香 (東京都)

12時00分 関西支部総会

事務連絡・追悼 事務局長

支部長挨拶 奥澤康正

『醫譚賞』贈呈式

————— 昼休み —————

13時20分 歓迎挨拶 大阪市立大学医学部同窓会長 生野弘道

13時30分 《特別講演》 — 座長 — 西川精宣 (大阪市立大学麻酔科学教授)

局所麻酔の変遷

演者 藤森 貢 (大阪市立大学名誉教授)

14時45分 《一般演題》 — 座長 — 園田真也

11. 植考書屋の早川佐七と植物学者三好学の関係 吉川澄美 (東京都)
12. 藤井玄芝『病家心得草』(1780)にみる病家の心得 平尾真智子 (健康科学大学)
13. 医師久野道祐と京都市中京区堺町通り道祐町 葉山美知子 (京都医学史研究会)
14. 一宣教師の見た20世紀初頭の日本医療の課題 堀 忠 (ながほり通り診療所)
15. 緒方春朔の業績 西巻明彦 (北里大学医史研)

16時00分 — 座長 — 八木聖彌

16. 浅井周伯『難経卑抄』 松岡尚則 (研医会)
17. 新たに発掘された療養所遺構の保存と活用 相川忠臣 (長崎大学)
18. 越境する病理学者—田原淳と Ludwig Ashoff W・ミヒェル (九州大学)
19. 薩摩医人列伝 園田真也 (枕崎市)

17時00分 閉会の辞 監事 猪飼祥夫

《紙上発表》

1. 医学的知見の教育・福祉的支援の応用～F,Fernellの論文から 小野尚香 (畿央大学)
2. いわゆる『儒医』についての考察VI—日常生活 田中祐尾 (大阪市立大学)

メモ
